



明けましておめでとつございます。皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から町政の運営に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

一昨年から続いている新型コロナウイルス感染症との戦いにつきまして、昨年9月末の緊急事態宣言の解除以降、感染者数は落ち着きを見せているところですが、新たな変異株のまん延も懸念されており、まだまだ安心できない状況が続いております。町民の皆様におかれましては、マスクの着用、うがい、手洗い、手指消毒、換気といった基本的な感染症対策を継続していただきますようお願いいたします。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症対応に追われた1年となりました。2月からは感染症対策の切り札といわれるワクチン接種が医療従事者から始まり、町の接種事業につきましては、医師会や医療機関の皆様との多大なるご協力のもと町内の接種対象者のうち約9割の方が2回目までのワクチン接種を済まされております。私自身も接種会場で、ワクチン接種事業に従事させていただきました。

明けましておめでとつございます。町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より町議会活動に対して温かいご支援、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス発生から2年目となりました。年始より2度の緊急事態宣言をはじめとして、感染拡大をいかに抑え、日常を取り戻すかという難しい課題に立ち向かう1年となりました。寄居町では、医療従事者や町職員、町民の皆様のご理解とご協力によりワクチン接種が順調に進みました。第5波の大波があったものの、現在は感染者をごく少数に抑え、日常が取り戻せつつあります。感染拡大防止にご尽力いただいた多くの皆様に改めて御礼申し上げます。

昨年最も嬉しかったニュースは、新井千鶴さんの金メダルです。東京2020オリンピック柔道競技個人で金メダル、そして団体で銀メダルを獲得されました。寄居町でももちろん、埼玉県でも個人競技の金メダルは初の快挙です。今後

12月から3回目の接種を開始しておりますが、引き続き役場組織を挙げてしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。改めまして、最前線でご対応いただきました医療従事者の皆様、感染症対策にご協力をいただきました町民の皆様、事業者の皆様に対しまして、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

このような状況下ではございましたが、7月には寄居町出身の新井千鶴さんが東京2020オリンピックの柔道女子70kg級で金メダル、柔道混合団体で銀メダル獲得という快挙を成し遂げられました。私たち町民に夢と勇気、大きな感動を与えてくれました。これからは指導者という立場で、ぜひ金メダリストを育てていただきたいと活躍に期待をしております。

今年度は第6次寄居町総合振興計画後期基本計画のスタートの年となります。後期基本計画では、前期基本計画の検証を踏まえた課題や新たな社会潮流などへ適切に対応できるよう「暮らしの充実」、「人づくりの推進」、「魅力の向上」の3つを重点的な取り組みテーマとして設定いたしました。それぞれのテーマに沿って施策・事業を効果的に推進し、総合振興計画期間10年間の総仕上げをしてまいります。

令和4年度の大きな動きとしましては、寄居駅南口の新たな顔となる駅前拠点施設の建設が完了します。令和5年度の供用開始に向けて、しっかりと準備を進めてまいります。

また、アフターコロナを見据えた対策につきましても、コロナ禍で大きな打撃を受けた事業者、町民の方への支援を一層充実してまいりたいと考えております。

は指導者として、世界に通用する日本の若者を育てていただくことを期待しております。

常にチャレンジャーとして

議会では昨年84件の議案を審議・議決し、11件の陳情・請願について審査を行いました。一般質問で、延べ35人の議員が質問に立ち活発な論戦を展開いたしました。また、各常任委員会では「防災・減災」、「観光拠点づくり」、「これからの学校教育」、「カーボンニュートラル」について調査・研究を行いました。さらに、「議会だより」では、積極的な町民登場による、町民の皆様と共につくる議会だより、そして議会発政策サイクルを力強く回していくことによる政策提案型議会を心掛け、前人未到の全国広報コンクール4連続日本一となりました。チーム議会として、議員16人の努力はもちろん、町民の皆様への紙面への登場、取材への協力が一番の要因です。ありがとうございました。

子どもは未来、そして希望

合計特殊出生率1.05。令和元年に寄居町で生まれた子どもは160人。対して、30年前の平成元年に生まれた子どもは313人でしたので、わずか30年間で生まれてくる子どもは半数になりました。この数字は全国平均、県平均と比べてもさらに低い数値です。

「子どもの数は未来そのもの」。国を守る



さらに、秋には深谷市に大型アウトレットモールが開業する予定となっております。県内をはじめ県外からも多くの方が訪れると思っておりますので、町としても、よいきっかけとして、町の活性化につながるよう取り組んでまいりたいと考えております。

引き続き「可能性 ∞ (むげんだい) 笑顔満タン よりいまち」の実現に向けて、町民の皆様が目線に立った施策・事業を切れ目なく展開していき、未来に希望が持てる町を目指してまいりますので、町民の皆様の一層のご指導とご協力を心よりお願い申し上げます。

結びにあたり、本年が、新型コロナウイルス感染症を克服し、町民の皆様にとりまして、健康で笑顔に満ちた素晴らしい年となりますことを心からご祈念申し上げますとともに、町にとりましても、さらなる発展の年となりますことを念願し、新年のごあいさつとさせていただきます。

第6次寄居町総合振興計画 後期基本計画がスタート!

寄居町長 花輪 利一郎



り、経済を動かし、地域を支え、次の世代を育てていくのもすべて人。将来、社会を担っていく子どもたちが激減していることに、我々もつと危機感を持たなければなりません。子どもが生まれ育つ町となるために、寄居町の政策資源を集中していくべきではないでしょうか。

変化のスピードが速すぎて、30年後、50年後はおろか、10年先もわからない時代といわれておりますが、最も確実な将来への備えは社会を維持できるだけの人を確保すること、そして育てることです。

ふるさと寄居が子どもたちの夢を育み、それぞれの長所を伸ばし、多様性を尊重する町であるために。志を同じくする皆様とともに新たな時代を拓いてまいります。

新時代を拓くために

寄居町議会議員 峯岸 克明